

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

有識者から、センターの活動に意見や提案！

～当センター運営推進懇談会を活動場所等で開催～

11月10日(月)、11日(火)、三重県と奈良県の県境にある大台ヶ原(大杉谷国有林)及び川上村において、当センターの効率的な運営を推進するため、NPO法人地球緑化センターの金井氏、毎日新聞社の前田氏、京都教育大学の山下教授の3名の有識者を委員とした今年度第1回目の運営推進懇談会を開催しました。

1日目は、ニホンジカによる森林被害が拡大している大台ヶ原において、当センター職員により、ニホンジカによる樹皮の剥皮により森林植生が衰退化している状況や白骨化したトウヒ、ウラジロモミの状況等を説明し、今年度から取り組んでいるラインセンサス調査、糞塊密度調査、固定プロット森林影響調査、微気象観測等について説明しました。

各委員は、樹木が大量に枯損又は消失しササ原化している様子、稚幼樹の食害を目の当たりにして、驚きの声を発し、ニホンジカによる森林衰退の実態を深刻に受け止めていました。

2日目は、川上村において懇談会を実施し、当センターの活動状況について、それぞれの担当職員より今年度の取組状況等について説明をしました。

各委員からは、ニホンジカによる森林被害対策については、「環境省と近畿中国森林管理局の方針の統一、共通理解が重要であること」、「被害の実態をもっと国民に伝えるべきではないか」、「ニホンジカの被害等に関するシンポジウムを開催してはどうか」、森林環境教育優良事例集の作成については、「学校にとっても貴重な資料となると考えているので、選定会議のメンバーには小中学校の先生も入ってもらうべき」、箕面体験学習の森整備事業については、「子どもたちがクヌギやコナラをドングリから育てる取組は興味深い」などの意見や提案がありました。これらの貴重な意見を今後のセンターの活動に反映させていきたいと考えています。



(吉野林業地視察)

会議終了後、樹齢250年生のスギ人工林において、川上村森林組合参事の大辻昭夫氏から、吉野林業の特徴と課題について話を伺いました。

大辻氏は、吉野林業の課題として、①殆どの山は村外の人が所有しており、自分の山を見に来ることは殆ど無いため、境界が分かりにくくなっている、②現在、皆伐は皆無に等しく殆どが間伐で、伐採木はヘリコプターで搬出しているが、木材価格が安いとヘリコプター集材で採算が合うところは限られている、③川上村は作業道が少ないため、現在作業道の作設を進めているが、地形が急峻なため思うように進んでいない、④大径材の需要はごく僅かで、大径材を伐採できる技術者も僅かしかいない、等をあげられました。

「グループ対抗 里山デジカメ選手権」入選作品決定

～ご応募ありがとうございました！～

11月2日(日)、滋賀県立琵琶湖博物館において、「グループ対抗里山デジカメ選手権」の最終審査会(審査員:写真家 今森光彦氏、農学博士 只木良也氏、フリーアナウンサー 青山佳世氏)を公開で開催することができました。

今年度のテーマは、「身近な森林(もり)の再発見」で、里山に代表される身近な森林の中に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの一瞬を切り撮った写真3枚を1作品として募集したところ、学校、森林・林業活動グループ、企業、家族などから157グループ(写真数471枚)の応募があり、この中から第一次審査を通過した30グループが最終の公開審査に臨みました。公開審査では、それぞれの代表が写真を前にメッセージを発表し、林野庁長官賞1点、滋賀県立琵琶湖博物館長賞1点、近畿中国森林管理局長賞7点が決定されました。

各審査員から、「里山という自然に対する夢の描き方がはっきりしており、人に提言できるものとなっている作品が点数が高くなった」こと、「定点を構えて、5年、10年撮ったり、春夏秋冬を撮ると面白い写真ができる」こと、「山の中を歩いたり、森林で作業をする時など、役割分担をして、是非、良い瞬間が撮り続けられるようにして欲しい」こと等のコメントがありました。



◎最優秀賞(林野庁長官賞)

「絵本の世界 森林の中」

想像力働き隊(神奈川県横浜市) 加藤啓子 加藤優佑 加藤俊輝



メッセージ

子供が三歳になる頃から、年二度は山に登ります。澄んだ空気、息があがってきても腕はひんやりしている感触に大自然を感じます。ぐんぐん伸びている根っこは、何かを求めているかの様な生命力を感じます。子供たちの大好きな「ねっこぼっこ」という絵本にねっこの下に住む妖精がいるのですが、家族全員「いるかもね…」と、あまりの迫力に唖ってしまいました。

大きなきのこを発見したときは「(白雪姫の)七人の小人の家ってこんなおうちだったかな？」と小人の大きさを想像し乍ら観察していました。途中で急に天気が崩れ始め、立ち往生になり、雷・強風・大雨になってしまいました。自然に飲み込まれそうになり、心細い中、静かになるのを待ちました。小雨になり、先程まで道が川になっていましたが、町で見かける水たまりは一つもなく、「お水はどこへ行ったの？」と不思議なほどでした。「森のねっこぼっこが、草が、土が、大量の雨水を吸いとってくれたんだね。」と下山しました。

しばらくすると、光が射し込み、きれいな虹が出ました。山登りで自然と体あたりした疲れが一気に吹き飛びました。まるで「オズの魔法つかいみたいだね。」と最後まで森林はわたくし達に”想像力”を働かせてくれました。

人間は様々な環境の中で育っていきますが、自然を五感で感じる事の大切さは子供の原風景として残り、心の豊かさや、強さになってゆくのだと思います。

◎琵琶湖博物館長賞

「山里の暮らし」

友達（大阪府柏原市）山本安子 池田ひろこ 大川真理子



◎優秀賞（近畿中国森林管理局長賞）

【学校部門】

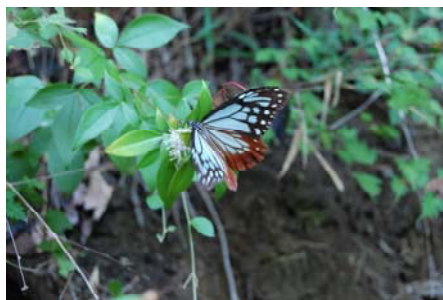
「3匹のみのり」

虫好きブラザーズ（大阪府高槻市）樫村健穂 樫村朗穂 樫村郁穂



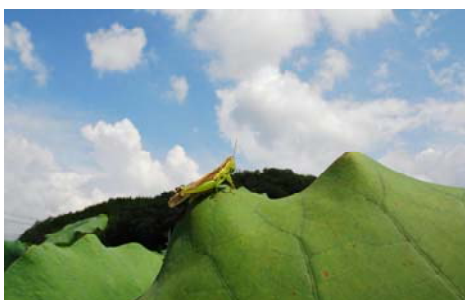
「木もれ日に輝く森」

大月市立鳥沢小学校M & A ミオ アント アリ（山梨県大月市）古家綾莉 佐藤滯



「小さな宝物」

広島県立庄原格致高等学校写真部A（広島県庄原市）石田愛美 横山千歳



【森林・林業活動部門】

「きになる木」

NPO法人ヒマヤン・グリーン・クラブ（滋賀県大津市）御池吉道 磯部春美 平塚清武



「大きくなーれ！～春のアカマツ植栽～」

NPO法人日本森林ボランティア協会（大阪府大阪市）笹智子 毛穴友治 大西由兼



「森が笑う日」

NPO法人やまぼうし自然学校（長野県上田市）佐藤明希 瑞慶覧明子 北川絵里



【一般部門】

「森から里へ」

滋賀県立大学里山いきもの愛好会（兵庫県伊丹市）吉川剛明 中西康介



「オオクワガタの棲める森づくり」スタート

～児童・園児がクヌギ、コナラをドングリから育成！～



「箕面体験学習の森」を含む北摂地域は、池田炭と呼ばれる茶道用の高級炭を生産するとともに、オオクワガタなどの昆虫類が数多く生息するクヌギ、コナラ等の落葉広葉樹林が広がっていました。

当センターでは、当該地域の国有林を子どもたちを対象とした森林環境教育のフィールドとして一層充実させる等の観点から、「箕面体験学習の森」の中心にある展望台周辺において、かつての森を再生することを目指して、ヒノキ、スギ林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図ることとしています。

この取組は住民参加型とし、ボランティアの協力により、苗木の育成→植栽→下刈り等の一貫した取組を継続して行うこととしています。

また、森林環境教育の一環として、箕面市内の小学生及び幼稚園児に苗木の育成から植栽を体験してもらい、①「森林」が豊かな体験を提供する場であること、②「森林」が正しい知識を得る場となること、③「森林」が生活や日本人とのかかわりをつくりあげていく対象となること等、「気づかせるきっかけづくり」となることを目指しています。

小学校、幼稚園におけるクヌギ、コナラのドングリ拾い 及び埋め込み等の様子

小学校、幼稚園におけるクヌギ、コナラの ドングリからの苗木育成状況

- ①箕面市立とよかわみなみ幼稚園(園児74名)
 - ・平成20年10月21日(火)：吹田市青少年野外活動センター(※1)
 - ・平成20年10月30日(木)：幼稚園(※2)
- ②箕面市立豊川北小学校(4・5年生164名)
 - ・平成20年10月24日(金)：小学校近辺及び小学校(※1、2)
 - ・平成20年10月29日(水)：〃
- ③箕面市立萱野北小学校(1・2年生116名)
 - ・平成20年10月28日(火)：「箕面体験学習の森」(※1、2)
- ④箕面市立かやの幼稚園(本年は職員のみ実施)
 - ・平成20年11月16日(日)：幼稚園(※2)
- ⑤箕面市立とどろみ幼稚園(園児20名)
 - ・平成20年11月19日(水)：幼稚園(※2)
- ⑥箕面市立せいなん幼稚園(園児33名)
 - ・平成20年11月20日(木)：幼稚園(※2)
- ⑦箕面市立箕面小学校
 - ・平成21年1月で検討中：小学校(※2)

(注)※1はドングリ拾い、※2は植木鉢への埋め込み

①箕面市立萱野北小学校(場所：「箕面体験学習の森」)



ドングリを一生懸命拾っている児童



木の円板や枝、ドングリを使った木エクラフト



オオクワガタなどの話を熱心に聞いている児童

②箕面市立豊川北小学校(場所：小学校近辺及び小学校)



ドングリ拾いに夢中



ドングリの埋め込みの話に聞き入る児童



クヌギとコナラのドングリの埋め込み



ドングリを埋め込んだ植木鉢

③箕面市立とよかわみなみ幼稚園(場所：吹田市青少年野外活動センター)



ドングリの話に興味津々



ドングリ拾いに熱中



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター
 TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>
 〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

